

新宿区では、学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能と「学校の教育課程の展開に寄与する」「健全な教養を育成する」という2つの目的をもつ「欠くことのできない基礎的な設備」であることに鑑み、学校図書館教育を推進しています。

新学習指導要領でも、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に学校図書館の活用が重視されています。学校図書館資料の活用、学校図書館での学習、学校図書館支援員の授業補佐などを視野に入れて、日々の学習指導を計画してみてください。

児童・生徒の学校図書館活用及び読書活動等に関する調査

今年も「児童・生徒の学校図書館活用及び読書活動等に関する調査」の時期になりました。10月27日～11月24日の実施期間中、都合の良い時に行ってください。

今年度も、「この1か月間で、学校の図書館の本を使って、調べたり勉強したりしましたか。」「この1か月間で、先生や図書館の先生にすすめられたり、紹介されたりした本を読みましたか。」の項目など、丁寧に説明をしながらアンケートを実施してください。

秋の読書週間中です

10月27日から秋の読書週間が始まっています。今年も多く多くの学校で秋の読書週間（旬間・月間）行事が行われています。読書ビンゴ・読書マラソン・お話し会・ブックトーク・図書委員会の集会・クイズなど様々な取り組みがされています。

本に
恋する
季節です！



2017・第71回
読書週間
10/27～11/9

読書の重要性が定着している今日でも、小学校高学年から学年が上がるにしたがって徐々に本離れの傾向にあるという状況が続いています。新宿区立の小中学校では、朝読書を行い、読書をしない児童・生徒はほとんどいませんが、学校図書館を利用して個々の読書の幅や質を高めていくということに関しては、さらに推進していく必要があります。お薦めの本を紹介するとともに、「読書週間（旬間・月間）中に学校図書館で本を借りよう」と声をかけることもよいのではないのでしょうか。

読書活動を参観させていただきました

読書の秋。区内の小中学校では、創意工夫ある様々な読書活動が展開されています。数校参観させていただきました。その中から紹介します。

戸塚第二小学校で全校児童を対象に行われた読み聞かせボランティアによる「戸ニシアター」を参観しました。絵本を画面に映し、音楽や効果音入りで数人が役割読みをし、ドラマが展開します。ストーリーに合わせて、映し出された絵本もアップやルーズで効果を出します。音楽はオリジナル曲だそうです。監督、音楽担当、画面担当、語りの皆さん、まるでプロの劇団のようでした。児童は、真剣に見入って作品に引き込まれていました。きっと対象の本を手にとって読みたくなったことでしょう。保護者や地域の方々による読書推進につながる素晴らしい活動でした。

天神小学校では、学校図書館支援員によるブックトークを行いました。6年生対象の「宮沢賢治の世界を楽しもう」を紹介します。宮沢賢治の作品を、「オノマトペ・リズム」「自然の描写」「鉱物・石」という表現の観点と「こわい話・不思議な話」「おもしろい話・ほんわかする話」「悲しい話・ジーンとする話」「宮沢賢治の信念」というテーマの観点で紹介しました。賢治の表現力や人間性に興味をもて、紹介された観点で作品を読んでみたくなるブックトークでした。6年生なりに文学作品として賢治の世界を鑑賞してくれるのではないかと思います。最後に全員で「雨ニモマケズ」を音読しました。